

長野市大岡への研修旅行

令和5年3月5日・6日(月)に「沢副会長はじめ6人の役員」と「田村先生をはじめ9人の大岡舞踊の会」の総勢15名で長野市大岡(旧大岡村)へ研修旅行に行ってきました。目的は「30年続く長野市大岡の文化芸能祭に大岡舞踊の会のメンバーが参加する事」と「長野市大岡の地域の役員や地元の方々との交流」です。5日の朝6時半、中型バスに乗り大岡地区センターを出発。天気も良く、道も空いていて、11時過ぎに長野市大岡公民館に到着しました。我々の控え室も準備されていて、早速、舞踊の会の皆さんは準備に取り掛かりました。12時半、こちらから行った15名がステージに上がり、丁寧な紹介を受けました。その後、大岡舞踊の会の皆さんが素晴らしい舞踊を披露しました。また、長野市大岡の皆さんも、舞踊は勿論のこと、歌や詩吟など、楽しい演目でした。特に山村留学で来ている小中学生の演舞は素晴らしいものでした。現在、長野市大岡の小中学生は30名でその中の20名が山村留學生だそうです。「是非、沼津の大岡からも山村留學生が来てくれる事を希望します」と、役員の方がおっしゃいました。午後4時半頃、文化芸能祭も終了し、山間の長野市大岡公民館から雄大な北アルプスを見ながら、急な山道を下り、宿泊するさざり荘に到着しました。午後6時から長野市大岡の役員さん、舞踊の会の方々、合わせて12名の皆さんが合流して歓迎会

を開いてくださいました。コロナ禍で久しぶりの再会の方々や初対面の方々も交流の歴史などのお話を伺って、とても楽しい宴会になりました。そして、舞踊の会の皆さんから、お土産を沢山頂き、長野市大岡と沼津市大岡の交流の深さを感じました。翌日の6日、8時半に宿を出発しました。途中、信州味噌の蔵元で説明を受けたり、土産物屋のハシゴをしたりしました。また、バスの中でも話がはずみ、楽しい時間を過ごす事ができました。そして、夕方4時過ぎに沼津市大岡地区センターに帰ってきました。とても有意義な研修旅行も無事に終え、来年度のこちらの文化祭の時に長野市大岡の皆さんが、お見えになるのを楽しみにしています。(大岡コミュニティ常任委員長 津野敏)



▲長野市大岡の皆さんとの歓迎会



大岡舞踊の会の皆さんの素晴らしい舞踊



ステージでの丁寧な紹介を受けました。



宴会終了後の合同写真



出発前、さざり荘前での写真



長野市大岡地区センターからの風景

令和4年度 春季火災予防運動 防火パレード出発式

【日時】2月26日(日)午前8時45分

【場所】大岡地区センター

大岡地区の消防団20分団・21分団・22分団(門池地区)が防火パレードを開催しました。大岡連合自治会長・門池連合自治会長のご挨拶後、連合の役員や消防団員の約20名が参加して出発式が行われました。

消防団は、消防本部や消防署と同様、消防組織法に基づき、それぞれの市町村に設置される消防機関です。地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わず、その地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。現在20分団15名・21分団7名(0Bを含む)・22分団19名が、活動しています。

また、消防団は消火活動のみならず、地震や風水害等、多数の動員を必要とする大規模災害時の救助・救出活動、避難誘導、災害防衛活動などの地域防災の要として、非常に重要な役割を果たしています。

さらに、各自治会における防火指導、大雨警戒、応急手当指導など、地域に密着した活動をしており、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。

大岡の皆さん、地域で活躍中の消防団にご理解とご協力をお願い申し上げます。



▲式典風景

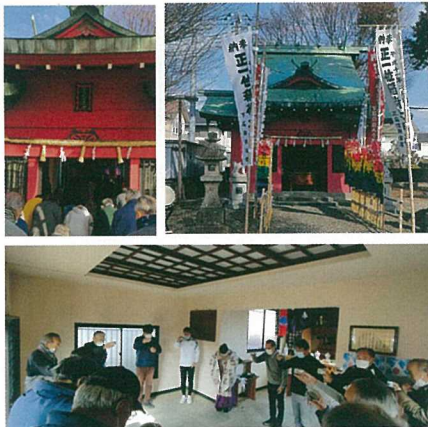
▲防火パレード風景

下石田 稻荷神社初午祭

令和5年2月5日(日)、下石田公会堂敷地内にある稻荷神社にて、昨年までコロナの影響で開催されていなかった稲荷神社初午祭が執り行われました。

9時30分より日枝神社宮司の方による神事が行われました。当日は天気も良く、たくさんの方々の方々に奉納旗を奉納するために来ていただきました。稲荷神社に奉納旗が並べられた景色を見ると、鮮やかな旗の色がとても印象的で素敵でした。感染予防対策のため炊き出しが実施出来ませんでした。その代わりに、奉納されたお子様にはお菓子のセツト、大人の方には飲み物を差し上げました。

役員の方も準備から当日の対応など大変でしたが、久しぶりの稲荷神社初午祭が無事に開催されたことを喜んでいました。



日吉自治会 山神社祭典

令和4年12月から令和5年1月にかけて、山神社の清掃と祭典が行われました。

【山神社清掃】

令和4年12月25日(日)に日吉自治会役員で山神社の清掃を行いました。草刈りと神社内の清掃を行い、約2時間の作業で見違えるほどきれいになりました。

【山神社祭典】

令和5年1月14日(土)11時より山神社祭典が開催されました。当日は、あいにくの雨でしたが、日吉自治会役員と関係者が出席されて、市川自治会長のご挨拶や日枝神社の宮司による祝詞奏上などが無事に執り行われました。

関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。



▲清掃の様子

▲祭典の様子

中石田自治会 居場所づくり用品おひろめ会 〜6種類の同好会がスタート〜

令和5年3月22日(木)10時から12時まで、中石田公民館にて「居場所づくり用品おひろめ会」を開催しました。おひろめ会には、きせがわ地域包括支援センターの職員や大岡地区社協の役員にお越しいただき、中石田自治会役員と区民の方々が参加。今回の開催の目的は「今年度よりスタートの同好会に必要な購入品(大型テレビ・カラオケセット・卓球台)のおひろめ会および同好会の参加希望者の申し込みの受付」です。

そして、参加者が続々と集まった頃に、井口自治会長より、「自治会では同好会のことです。昨年の秋より動いてきました。皆さんにアングケトをとったところ、やりたい」という声が多かったです。行う内容は、中石田公民館の1階は茶話会・囲碁と将棋・健康麻雀で、2階はDVD鑑賞・カラオケ・卓球で、全6種類です。皆さんが集まれる時期に何度でも気軽に集まり、楽しんでいただきたいと思います。同好会形式で行います。同好会に入会しなくても参加できます。そんな感じで、段々と大きくしたいです。皆さんのご協力をお願いします。」と、ご挨拶や説明がありました。また、おひろめ会の終了後、井口自治会長は、「同好会への途中入会は、随時、活動中に様子を見ていただきたいと思います。その時に申し込みをしていただきます。お問い合わせ先は、090-34251-9186 井口までお願いします」と。

参加者は、大型テレビでWBC観戦をしたり、卓球と健康麻雀の体験もあり、終始、和やかでアットホームな雰囲気になっていました。



健康麻雀

受付

卓球

大型テレビでWBC観戦

消防団大岡方面隊旗引継ぎ式

日時…3月5日(日)午前10時

場所…大岡地区センター2階大会議室

大岡方面隊は、沼津市北部ブロック隊に属し、大岡・金岡・愛鷹・大平の4方面隊の11分団で構成され、沼津市北部を災害から守っています。

その大岡方面隊旗引継ぎ式が、大岡地区20分団・21分団・22分団と各自治会長が参加して行われました。

初めに21分団長の開会の辞があり、大岡連合自治会長の上田素行氏、門池連合自治会長の福田和男氏、副団長の青島昭広氏から、それぞれのご挨拶がありました。その後、大岡方面隊長の高橋叔宏氏から新大岡方面隊長の杉山貴之氏に大岡方面隊旗が引き継がれ、新分団長の紹介および方面隊指導員の紹介があり、最後に「火の用心三唱」をして終了しました。



▲大岡方面隊旗の引継ぎ



▲方面隊の指導員

▲副分団長

大岡の皆さんへのお知らせです！

広報誌【コミュニティ大岡】では、掲載する**短歌・俳句・川柳**を募集しております！

☆対象者は年齢問わず、どなたでもご参加いただけます。☆お題は自由です。

☆応募作品（一首または2首）に、短歌・俳句・川柳のいずれかを明記の上、大岡地区センター窓口の左側にある「ポスト型ボックス」に入れてください。（切手は不要・用紙は自由です）

☆お名前・電話番号・お子様の年齢もお願いします。（お名前は作品の下に記載させていただきますが、ペンネームやイニシャル・匿名希望でもOKです）

☆募集は今回のみではなく続きます。お気軽に何度でも、ご応募ください。皆さんの作品を心からお待ちしております！



▲会場風景

(各消防団・大岡各自治会長・門池各自治会長)

第2回大岡地区ソフトバレーボール大会郵便局長杯

2月12日(日)、大岡小学校体育館にて第2回大岡地区ソフトバレーボール大会郵便局長杯が開催されました。総勢80名に参加をしていただき、健康増進と、スポーツを通じて親睦を図ることを目的に開催しました。18チームが3つのリーグに分かれて熱戦を繰り広げました。

参加者一同、笑顔の絶えない一日となりました。今後も大岡地区を郵便局と共に元気に盛り上げていきます。

【大岡郵便局長 勝間田 昌】



参加者全員で記念撮影

「特殊詐欺被害を未然に防いだ」として、杉崎郵便局の原田敬一局長に感謝状！

令和5年2月28日(火)、杉崎郵便局の原田敬一局長(中石田在住)に「適切な対応で特殊詐欺被害を未然に防いだ」として、沼津署から感謝状が贈られた。

それは、2月13日(月)の出来事であった。60代女性が杉崎郵便局の窓口を訪れ、原田局長に「市役所から還付金の電話があり、ATMで手続きに来た」と相談。原田局長は、詐欺被害防止活動の担当局長を務めたこともある経験から、すぐに特殊詐欺被害を疑った。そして、詳しく話を聞いた上で、女性に、詐欺の疑いがあることを伝え、沼津署に通報し、警察官から話してもらったことを納得してもらった。

沼津署の吉田署長は、「このような適切な対応で還付金詐欺の被害を防ぐことが出来た」と原田局長に感謝した。

原田局長は、「被害女性と相談しやすい関係を作れて良かった。独居の方も多いので、今後も困り事を相談しやすい場にしていきたい。また、最近、ネットショッピングで代金を支払ったが、商品が届かない、という若者からの相談を数件受けた。これからも地域住民からの相談を受け付け、詐欺の被害から守っていきたい」と話した。



▲原田局長（中央）と吉田署長（後列中央）～沼津署にて～

HUG(避難所H運営UゲームG)研修会

令和5年2月5日(日)、大岡コミュニティ部・女性部主催でHUG(避難所H運営UゲームG)研修会が、大岡地区センターで行われ、参加者は男性29名、女性18名でした。

HUG(ハグ)とは、避難所運営をみんなで考えるためのアプローチとして、静岡県が開発したゲームのことです。

今回は、自治体ごとの8グループに分かれ、避難者それぞれの事情が書いてあるカードを、体育館の平面図を使って、どこに配置するかを考えた。さまざまな出来事にどう対応するかを話し合っって決めたりと、運営の疑似体験ができました。

また、避難所の設定が、各自治体が災害時に利用する体育館だったため、想像もしやすく、よりリアルに感じました。避難所は、さまざまな出来事が次々に起こり、運営側の苦労が伺えました。



日吉まるしえ(バザー)

令和5年3月4日(土)、日吉自治会館にて、いきいき倶楽部と子ども会が合同で「日吉まるしえ(バザー)」を行いました。

会場では、いきいき倶楽部が、ハーバリウム(観賞用植物標本)の作製・販売を行い、子ども会は、学用品のバザーやおしるこ・ワッフルの販売を行いました。また、日吉のハンドメイド作家さんの物品販売もあり、新生活に向けて学用品などを買いそろえる方々が来場。

売り上げの一部は養護施設松風荘に寄付をしました。



避難所開設の疑似体験(HUG)

日時：令和5年3月12日(日)
午前9時30分～午後3時
場所：大岡地区センター2階大会議室
参加人数：男性5名(大岡コミュニティ部役員)・女性部員22名(大岡コミュニティ部副委員長・女性部会) 合計27名

今回は新型コロナウイルス対策用に優先順位を決めた避難所開設アクションシートに従って避難所開設の疑似体験(HUG)を行いました。※HUGとは、H(hinanjyo避難所)、U(uneijyunso、G(gameゲーム)の頭文字を取ったもので、英語で「抱きしめる」という意味です。避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名付けられました。

実施方法は、参加者が避難所の運営を任された立場となり、避難所に見たてた図面に家族構成・年齢・性別・職業・持病の有無など事情の異なる避難者の状況カードを配置。そのカードを基に、さまざまな事情を抱えた避難者が殺到する状況に対処していくという模擬体験をします。そこから、色々な課題がみえてきます。



▲避難所開設疑似体験の風景

第44回沼津市弥生杯バレーボール大会

2月26日(日)、「第44回沼津市弥生杯バレーボール大会」が片浜小学校体育館で行われました。今回は大岡校区、大岡南校区の両校区が参加しました。大会は市内7校区が参加。2ブロックに分かれて予選が行われました。

予選は大岡校区が1位、大岡南校区が3位で、順位決定戦に臨みました。最終順位は大岡校区が2位と大健闘。大岡南校区は6位となりました。



木瀬川 防災講座

【日時】 令和5年1月29日(日)

午後1時～

【会場】 木瀬川公民館2階

【講師】 蓮池章平氏(防災士)

【参加人数】 45名(コミ防災部長・木瀬川自主防災部長が参加)

【テーマ】 近年、相次ぐ自然災害から自分自身を守り、家族や地域で防災意識を高めよう！

【黄瀬川大橋の(令和3年7月の豪雨による)災害復旧について】7月梅雨前線に伴う大雨により橋脚の一部が沈下し、7月3日から通行止め。国・県・地元業者で連携し、作業の安全確保をしながら既存の構造物を活用した形で応急組立橋を設置し、現在にいたる。下流側で仮橋・迂回路は令和5年秋に完成予定で大型・中型車・二輪車の通行可能。本橋は令和8年度完成予定である。

【講座内容】①「正常性バイアスが迫っている危機に過小評価する」危機が迫っていることに対して、「自分だけは大丈夫」「何とかなるだろう」「そんなことは起こるわけがない」「今の状況は正常な範囲内の事だ」「周りの人が慌てていないので大丈夫かと思った」↓上記のように考えないように、非難訓練を繰り返し、普段からあらゆる状況を想定しよう！②「防災意識を高める」自分の命を守る。家族・友人・身近な人の命を守る。非常用持ち出し袋は

コンパクトに。③「地震災害に備えて」県内の9割の住宅は、すでに耐震化されている。対象は昭和56年5月以前に建てられた木造住宅。専門家による耐震診断は無料(令和6年度まで)で受けられる。耐震補強等に係る費用の一部に補助金(令和7年度まで)が出る。④「地震のあと

の停電、その後に備えて」感震ブレーカーがあれば自動的に電気を遮断してくれるため、2次災害を未然に防ぐことができる。度重なる地震での被害を少しでも軽減するために、感震ブレーカーの使用がおすすめ。⑤「緊急時に命を守る」静岡県では令和元年6月1日から、スマートフォン向け総合防災アプリ「静岡県防災」の運用を開始した。各種緊急情報の通知から、ハザードマップの確認、平時の防災学習や避難トレーニングまで、災害時に幅広く役立つ機能を備えている。災害時の行動を家族で決め、連絡方法を共有しておこう！

【自分の命は自ら守る！】自助：基本は自分自身の身の安全を守る。個人の力では限界ある。お互いの「互・近」の「近・助ける」「助」



▲講師・蓮池氏(防災士)



▲講習風景

日吉 WBCパブリックビューイング

令和5年3月9日(木)～22日(水)の間、日吉自治会館にてWBC(ワールドベースボールクラシック)のパブリックビューイングを行いました。「日本代表を優勝させる会」と称し、昨年の11月にサッカーワールドカップ日本代表戦を観戦した老若男女の有志が再び集まり、侍JAPANの全7試合の応援を日吉自治会館の150インチの大画面で応援しました。そして、見事に侍JAPANが14年ぶりにWBCで世界一となり、参加者全員が大興奮しました。

日吉自治会では、今後もスポーツイベントのパブリックビューイングを行う予定です。

※パブリックビューイングとはスポーツ競技やコンサート等のイベントにおいて、大型の映像装置を利用して観戦・観覧を行うイベントのこと。日本のパブリックビューイングの原点は、テレビが家庭に普及する前の1950年代の街頭テレビで、現在のような方法の採用のきっかけは1988年のオリンピックのソウル大会である。



▲WBCパブリックビューイングの様子



▲優勝の瞬間!!の大画面

認知症の方に出会った時に

・大きな声を掛けない
・急がせない。
・自尊心を傷つけない。

これは、認知症の方への「3つの気遣い」です。

先日、日課としていたウォーキング中、大岡地区センターの近くにきた時、2人の女性の視線を感じ、良く見ると一人が裸足の状態で、一人はその異常を徘徊と理解し、交番に連絡し待っているとのことでした。程なく警察官が到着、本署に連絡済で保護を依頼中とのこと。その間に定かでない記憶を探りだそうとしたが上手くいきません。どこから来たのか、どこに行きたいのか、本人の名前、家族の名前いろいろ確認しましたがダメでした。が、ボンボンと口にした、マンションらしき名前と家族の名字らしきことが聞きとれたので、自治会長に来てもらい確認をお願いしたりしました。そうこうしているうちに、パトカーが到着経緯を説明、保護をお願いしウォーキングを続行しました。歩きながら自分の対応を振り返り、意外に落ち着いて行動できたのではと感じました。

『3つの気遣い』対応ができたのは、いまだ認知症と観られる方への対応について、徘徊模擬講習等で何回も説明を受けていたことが行動に繋がったと思いました。認知症・災害への対応等いろいろな講習会があります。これからも気持ちを投入して受けるようにします。なお、今回保護された方は無事自宅へ帰られたことです。

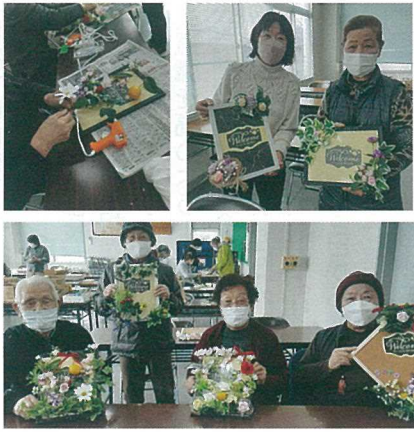
沼平町 芹澤仁さんからの投稿

いきいきサロン

中石田

2月7日(火)中石田公民館にて、いきいきサロン「ウエルカムボード作成交流会」が開催され、参加者は17名でした。

リボンや色とりどりの花や葉（造花）を選びボード（A4サイズの写真立て）の上でレイアウトを考え、グルーガンで貼り付けて、完成させました。みなさん大変喜んでいました。今回のいきいきサロンは、昨年コロナのため中止となった、歳末助け合い運動の助成金で実施されました。



沼平町

第3回いきいきサロンは11月6日(土)の午後1時半から開始された。出前講座を申し込んだ長寿福祉課から



の決定通知書を見ると講師は、中石田の身体調整治療院の渡邊先生だった。同じ地域、大岡の先生なので少し安心感が湧いて来た。今回は「高齢者からだセルフケア、自分の体を慈しみ、日々を仲間と元気に楽しむ」というテーマで、前段の座学では日々注意する事、気に掛ける事について日常の中からそのポイントを上げ、分かり易く話し掛けていただいた。

実技では、参加者の話に耳を傾けそれに対処した指導を行っていた。アンケート回収の中には「自分でできる体操、つぼが分かった」や「とても参考になった。毎日実行したら元気な身体で、健康にいられるなあと思いました。またこの講座をお願いします」等、身近な体操である事や再講習のリクエストが見られた。

仲間と共に自分の体の弱点を補う体操に真剣に耳を傾け手足を動かして、また、合間のジョークに皆と笑い心身共に充実した午後の時間を過ごす事ができたと感じた。



第4回いきいきサロンは、2月18日(土)に開催され、昨年11月に引き続き、再開講のリクエストがあった渡邊先生にお願いをした。今回は「心身共に健康長寿、私こそ私の主治医」(自然治癒力の発現)というテーマで座学を行った。

手足の運動は左右逆に回すことや、体は前後左右にくねくねと回しながら動かすことを学ぶ。先生に見ていただくと「それは同じ方向だよ」と、……

4～5名のグループに分かれ足運動と共に「シリトリゲーム」を行っていたが、マスク越しで聞こえにくかったり、スムーズに次の言葉が出なかったりと、夫々のグループからは大きな笑い声が聞こえ、童心に戻ったようにとても盛り上がりがあった。

終了後、各回ごとに記入していただいたアンケートを基に、今年度の振り返りを行った。また、今回で今年度の「いきいきサロン」全4回は終了し、全てのサロンに参加した7名に皆勤賞の表彰と副賞の授与を自治会長より行った。

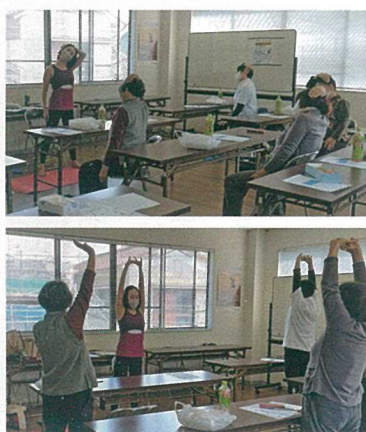
平和郷

3月8日(水)いきいきサロンにて、シニアヨガ講座を、ホームケアサービスところケアマネジャー兼、ヨガインストラクターの阿部先生をお招きし開催しました。

まずは脳の血流を促すため、クロスワードや穴埋め二字熟語パズルなどの脳トレを行いました。なかなか回答が出なかったり、珍回答があったりして盛り上がりました。

次に首、肩、肩甲骨周り、ウエストのストレッチ、足裏にテニスボールを置き体重を片足に乗せテニスボールで足裏のマッサージを行いました。足裏のマッサージは痛気持ちよく、足が軽くなったことを実感しました。最後にまた脳トレを行いました。

今回のヨガは自宅でも手軽にできることばかりで、とても気持ち良かったです。100均に行ったらテニスボールを買ってきます、またやってほしい、などの声が聞かれ好評でした。



寿サロン

2月8日(水)大岡地区センターにて、寿サロンと大岡福祉塾の合同講座が行われ、寿サロンの会員、民生児童委員、一般、社協の合計約50名が参加した。

沼津信用金庫「しんきん成年後見サポート沼津」さんより3名に講師として来ていただき、『成年後見制度』について具体的にどんな時に必要で、またどのような制度があるか話しを伺った。

まず、成年後見制度は、認知症・知的障害・精神障害などによって物事を判断する能力が十分でない方について、本人の権利を守る支援者を選ぶことで、本人を法的に支援する制度との説明を受けた。

種類もいろいろあり、本人に判断能力があるうちに開始するもの、判断能力が不十分になってから開始するもの。どんな仕事をしてくれて、できない事は何なのか。メリットには、本人にとって不利益な契約などを取り消すことができること、デメリットには費用がかかるなどの詳しい説明があった。

その他にもいくつか制度があり、



今回勉強する機会があったことで、これから何が必要なのかを考える良いきっかけとなった。

3月8日(水)寿サロンの閉校式が地区センターで行われ、寿サロンの会員19名が参加した。

今回は川柳を作ってみるという企画だったが、参加者の多くは川柳を作った事がなく、ずいぶんと四苦八苦していた。そんな中でも、身近な人を思い浮かべてみたり、最近あった出来事や、自分の好きな事などを少しずつ言葉にしていくと、不思議と川柳になっていった。ひとつ書けると、何作も書ける人もでて、仲間の作った川柳の感想を言い合った。一番気に入った一作を選び、3月11日と12日に地区センターで開催されたふれあい芸術祭に出展した。

寿サロン

ヤットコ来たよ 押し車

エミ子さん作

ウォーキング

夫連れずに 犬を連れ

佐藤初美さん作

おいお父さん

まだいかないよ 元気ですよ

大庭静江さん作



寿サロン会員募集

令和5年度の寿サロン会員を募集しています。

寿サロンは、「仲間づくり」「健康づくり」「生きがいづくり」「居場所づくり」を目的としています。男女は問いません。大岡地区センター2階にて、月に1回の頻度で行っています。

健康づくり体操、手芸教室、餅つき大会など、一年を通していろいろな企画をご用意しています。一緒に楽しい時間を過ごしませんか。

対象となる人（全てに該当する方）

- ・大岡在住
- ・70歳以上
- ・1人暮らし、または昼間に1人になる人
- ・自ら地区センターまで来所、帰宅できる人

会費 全期2千円、半期千円
時間 10時から12時

お申込み、お問い合わせは
大岡地区センターまで
☎055-924-0299



沼平町子どもワークショップ活動

令和4年12月18日(水)、沼平町自治会館にてオリジナルスプーン・フォーク作りのワークショップが開催されました。

沼平町子ども会会長の小川さんの提案によって企画され、沼津市真砂町にある小野銅工店の小野さんを講師に招き沼平町子ども会の親子13名が参加。

銅と真鍮のどちらかを選び、金槌で細かく叩いて形にした後、ピカピカに磨いていきます。子どもも大人も気づくと無心で取り組み、柄の部分には自分の名前が刻まれあつという間の2時間でした。

小野さんから可愛いバッチのお土産もいただき、親子で一緒に特別な体験ができた1日になりました。



日吉子ども会6年生を送る会

令和5年3月4日(土)日吉自治会館にて6年生を送る会が行われました。当日は初開催のEスポーツ大会も同時に行われ、マリオカートで競い合い、栄えある第一回優勝者に輝いたのは、4年生の藤田龍生君でした。

その後、6年生を中心に、イス取りゲームや大縄とびなどのゲームを行い、下級生たちは6年生との思い出づくりをしました。

最後には6年生に記念品が贈られ、中学での抱負を発表してもらいました。

6年生の新たな門出に期待します。



▲イス取りゲームの様子



▲6年生記念品贈呈



▲Eスポーツ優勝者 藤田龍生君



▲Eスポーツ大会の様子

第60回静岡県子ども会連合会大会

令和5年3月5日(日)静岡県湖西市新居町で第60回静岡県子ども会連合会大会が行われ、日吉子ども会が長年の活発な活動が評価され、ジュニアリーダーの大岡中学2年眞野彩月さんが表彰されました。

また、作文コンテストチャレンジ冒険記部門で、日吉子ども会4年杉山笑さんが、静岡県教育委員会・教育委員長賞を受賞し、賞状授与と作文の発表を行いました。



▲左 杉山笑さん 右 眞野彩月さん



▲県子連授賞式

▲作文発表の様子

大岡南小 奉仕作業

令和5年2月18日(土)大岡南小学校PTA主催の奉仕作業が行われました。

当日は児童・保護者・校長先生をはじめとする先生方を含め、総勢104名が参加し、日頃お世話になっている学校を綺麗にしました。

作業内容は、学校周辺の垣根の選定や、正門前の側溝の汚泥の撤去・高圧洗浄機による校舎の壁の洗浄などを行いました。

特に子ども達は普段手にしない高圧洗浄機に興味を持ち、池田PTA会長の指導の元、使い方の説明を受けた後、壁面の清掃を手伝いました。大変綺麗になり卒業式を迎える事ができました。



▲垣根の選定



▲親子で作業



▲側溝もとても綺麗になりました。



▲高圧洗浄機作業

大岡中学 奉仕作業

令和5年3月12日(日)PTA本部企画「大岡中学校感謝プロジェクト」(奉仕作業)が行われました。

保護者を対象に「大岡中に感謝の思いを込めて校舎を綺麗に…」を目的に「できる人ができる時に」をコンセプトに総勢35名で作業を行いました。

午前8時から2時間程度、各階のトイレ、階段・廊下の隅の掃き掃除、お父様方は高い場所の窓拭きをして下さいました。

限られた時間でしたが、それぞれが清々しい気持ちで終わることができました。



中石田子ども会 古紙回収

令和5年2月11日(土)、中石田子ども会活動の一環として、今年度最後の古紙回収が行われました。

早朝から各組の児童と保護者、子ども会役員が回収に回りました。子ども達も率先して古紙を運び、頼もしい姿が見られました。

地域の皆様、日頃より子ども会活動にご支援・ご協力いただきまして、ありがとうございます。新年度もよろしく願っています。



大岡小 ボランティア感謝の会

令和5年2月14日(火)、大岡小体育館で「ボランティア感謝の会」が行われました。

スクールガード・読み聞かせ・図書整備・自然教室・花壇整備・ミシンボランティアの方々をお招きし、代表児童から感謝の気持ちと手紙をプレゼントしました。

「子どもたちのため」その思いで活動していただいているおかげで、岡っ子たちが安全に笑顔で過ごしています。

日頃の感謝の気持ちがこもった拍手が廊下までずっと響いていました。



大岡小 6年生卒業遠足

令和5年2月24日(金)、大岡小6年生が卒業の思い出作りに電車に乗り卒業遠足へ行きました。

行先は、千本浜や港口公園、香貫公園など沼津港周辺。千本浜では海に足を入れてみたり、港口公園で昼食をとり、デザートに深海プリンも食べました。

子ども達からは「公園の遊具や鬼ごっこをして遊んだのが楽しかった」という声があり、6年間で共にした仲間とふるさと沼津を歩き、仲間や沼津の良さを改めて感じられた1日となりました。



大岡小 6年生感謝週間

令和5年2月17日(金)から22日(水)まで6年生感謝週間が行われました。

この1週間のために5年生が中心となり、活動してきました。

教室や廊下は素敵に飾りつけされ、6年生の紹介を給食の時間を使って中継したり、下級生たちが6年生へ歌を贈ったり、また6年生と遊ぶ日もありました。

お世話になった6年生へ感謝の気持ちと共にエールを送り、学校全体がとても温かい雰囲気になっていました。

6年生、ありがとう！



大岡南小学校

6年生を送る会

令和5年2月22日(水)大岡南小で下級生による6年生を送る会が行われました。

5年生が中心となり6年生に歌や踊りの出し物を行い、お世話になった6年生に感謝の思いを届けました。

6年生からはお返しとして卒業式で披露する歌を在校生に披露しました。

6年生の皆さんありがとうございました。

春からの新生活頑張ってください。

大岡中学お別れ遠足&3年生を送る会

3年生を送る会

令和5年3月8日(水)大岡中学3年生が八景島シーパラダイスへお別れ遠足に行ってきました。

イルカのショーを見たり、遊園地でジェットコースターに乗ったり、中学校生活最後の行事を仲の良い友達と楽しく過ごすことができました。

また、3月10日(金)には3年生を送る会が行われ、在校生からは3年生に感謝のメッセージや応援団によるエール、卒業式で使うコサージュの記念品贈呈があり、3年生からは卒業式で歌う合唱のお返しがありませんでした。
心のこもった温かい3年生を送る会となりました。

大岡校区3校卒業式

令和5年3月16日・17日に大岡校区の卒業式が行われました。

大岡中学卒業生140名、大岡小卒業生60名、大岡南小73名、合計273名が巣立ちの日を迎え、家族、先生、仲間へ感謝の思いを伝えました。

春から新たな目標に挑戦する子ども達を地域の皆様、引き続き温かく見守ってください。



▲お別れ遠足



▲集合写真



▲3年生合唱



▲3年生を送る会



▲大岡中卒業証書授与の様子



▲大岡中全員合唱の様子



▲大岡中 PTA会長眞野様



▲大岡中学答辞 松田遥亮さん



▲大岡中送辞 眞野彩月さん



▲大岡小 保護者からのメッセージ



▲大岡小 卒業式の様子



▲大岡小 PTA会長安井様



▲大岡小 卒業証書授与式



▲大岡小 卒業式の様子



▲大岡南小 卒業式全体写真



▲大岡南小 お別れの言葉



▲大岡南小 PTA会長池田様



▲大岡南小 卒業証書授与式の様子



▲大岡南小 卒業証書授与式



連合自治会

発行／大岡コミュニティ推進委員会 編集／広報部

発行責任者／上田素行

問合せ／大岡地区センター・事務局 沼津市大岡2357-1 TEL 055-924-0299

発行部数／8,300部

大好き大岡 URL <http://www.e-ohoka.com/>